

第6章 調査間での共通質問

1 日頃のコミュニケーション

①近所付き合いの程度【市民，高齢者】

ご近所付き合いは、どの程度していますか。（主なもの1つに○）

- 「家を行き来するなど、親しくしている」と「立ち話をする程度」を合わせた『親密な近所付き合いをしている』の割合は、市民 28.2%，高齢者 46.9%となっている。

単位：％	親しく 家を行き来する など、	立ち 話をする 程度	あいさ つをする 程度	い ない 近所 付き 合 い を し て	無 回 答
市民（N=924）	5.7	22.5	55.3	14.2	2.3
高齢者（N=633）	12.5	34.4	43.6	7.1	2.4

②近所付き合いの必要性【市民，高齢者】

どのような時にご近所付き合いの必要性を感じますか。（それぞれ1つに○）

- 近所付き合いの必要性について、「とても感じる」と「感じる」を合わせた『感じる』の割合は、市民，高齢者ともに〔ア 緊急時や災害時の助け合いが必要なとき〕が最も多く，〔エ 高齢者やひとり暮らしの人への支援・見守り〕が続いている。

<『感じる』の割合>

単位：％	ア 合 緊 急 が 必 要 な 時 の 助 け	イ た 日 常 生 活 で あ る つ と し	ウ 安 子 全 ど 確 も た ち の 見 守 り ・	エ の 高 人 齢 者 の や 支 援 ・ 見 守 り し	オ 必 話 し な 相 手 や 相 談 相 手 が
市民（N=924）	79.0	38.9	58.4	63.2	35.2
高齢者（N=633）	79.6	44.9	50.0	65.2	44.6

③孤独・孤立の状況【市民，高齢者，障害者（18歳以上），障害児保護者】

次の項目についてあなたはどれくらいの頻度で感じていますか。（それぞれ1つに○）

- 孤独・孤立の状況について，「時々ある」と「常にある」を合わせた『ある』の割合は，市民，高齢者，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，難病，障害児保護者は「ア 自分には人とのつきあいが無いと感じることがある」，精神障害は「イ 自分は取り残されていると感じることがある」が最も多くなっている。

<『ある』の割合>『ある』の割合は，ア～エそれぞれで「時々ある」と「常にある」の回答合計

単位：％		ア 自分 には 人との つきあ いがな い	イ 自分 は取り 残され てい る	ウ 自分 は他 人の た ちか ら孤 立し てい る	エ 自分 は孤 独で ある と感 じる	(参考) 「国」※ 「孤独 である と感 じる こと がある」
市民（N=924）		41.1	16.4	15.2	17.6	19.7
高齢者（N=633）		31.7	10.1	10.8	12.7	
障害者 （18歳以上）	身体障害（64歳以下）（N=238）	45.0	31.9	30.2	34.9	
	身体障害（65歳以上）（N=190）	35.7	23.2	20.5	23.7	
	知的障害（N=240）	43.7	30.8	28.8	29.2	
	精神障害（N=392）	56.4	60.8	59.2	58.9	
	難病（N=348）	34.8	24.7	22.4	25.0	
障害児保護者（N=185）		50.3	42.7	42.1	38.9	

※「令和6年人々のつながりに関する基礎調査」（内閣府）において，記載の問に「しばしばある・常にある」，「時々ある」と回答した人の割合

④コミュニケーションの頻度【市民，高齢者，障害者（18歳以上），障害児保護者】

家族や友人たちとのコミュニケーション頻度についておたずねします。あなたと同居していない家族や友人たちとのコミュニケーション頻度について，お答えください。
(それぞれ1つに○)

ア 直接会って話す（手話等を含む）

○ 直接会って話す（手話等を含む）頻度は，市民，障害児保護者は「月1回未満」，高齢者は「月1回程度」，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，難病は「週4～5回以上」，精神障害は「全くない・できない」が最も多くなっている。

単位：％		週4～5回以上	週2～3回程度	週1回程度	2週間に1回程度	月1回程度	月1回未満	全くない・できない	無回答
市民（N=924）		16.6	13.9	12.7	10.8	17.2	18.3	6.6	4.0
高齢者（N=633）		11.7	17.9	17.9	7.7	19.7	11.2	7.6	6.3
障害者（18歳以上）	身体障害（64歳以下）（N=238）	25.6	8.4	8.4	4.6	14.3	17.6	11.3	9.7
	身体障害（65歳以上）（N=190）	17.9	10.0	14.2	8.4	11.6	11.1	11.1	15.8
	知的障害（N=240）	26.7	7.1	4.2	6.7	10.0	15.8	17.9	11.7
	精神障害（N=392）	15.1	10.5	9.9	7.7	13.0	16.1	19.9	7.9
	難病（N=348）	22.1	9.5	12.6	10.6	13.2	16.7	6.9	8.3
障害児保護者（N=185）		13.0	13.5	14.1	11.4	13.5	24.3	8.6	1.6

イ 電話（ビデオ通話含む）

○ 電話（ビデオ通話含む）の頻度は，市民，難病は「月1回未満」，高齢者，障害児保護者は「月1回程度」，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害は「全くない・できない」が最も多くなっている。

単位：％		週4～5回以上	週2～3回程度	週1回程度	2週間に1回程度	月1回程度	月1回未満	全くない・できない	無回答
市民（N=924）		7.8	11.0	12.3	10.9	17.9	20.7	14.7	4.7
高齢者（N=633）		8.4	11.8	16.3	10.4	16.9	14.7	10.6	10.9
障害者（18歳以上）	身体障害（64歳以下）（N=238）	11.8	7.6	10.1	5.9	13.4	17.6	21.0	12.6
	身体障害（65歳以上）（N=190）	10.0	10.0	13.2	10.0	8.9	8.9	15.8	23.2
	知的障害（N=240）	5.4	4.6	3.3	3.3	7.9	14.2	43.8	17.5
	精神障害（N=392）	12.5	7.1	8.2	5.4	11.0	18.4	28.6	8.9
	難病（N=348）	11.2	8.9	17.0	9.2	13.8	19.5	9.5	10.9
障害児保護者（N=185）		5.4	12.4	9.7	11.9	22.7	18.9	17.3	1.6

ウ SNSや電子メールなど

- SNSや電子メールなどの頻度は、市民、身体障害（64歳以下）、精神障害、難病、障害児保護者は「週4～5回以上」、高齢者、身体障害（65歳以上）、知的障害は「全くない・できない」が最も多くなっている。

単位：％		週4～5回以上	週2～3回程度	週1回程度	2週間に1回程度	月1回程度	月1回未満	全くない・できない	無回答
市民（N=924）		27.8	14.8	12.7	9.7	9.7	8.2	11.4	5.6
高齢者（N=633）		14.8	13.1	11.7	7.6	9.5	8.2	22.1	13.0
障害者 （18歳以上）	身体障害（64歳以下）（N=238）	25.2	8.8	11.8	4.6	8.8	9.2	19.7	11.8
	身体障害（65歳以上）（N=190）	10.5	9.5	9.5	4.7	5.8	2.6	28.4	28.9
	知的障害（N=240）	14.2	5.8	2.9	1.3	4.2	7.1	44.2	20.4
	精神障害（N=392）	24.0	9.2	9.7	7.1	7.1	10.7	21.2	11.0
	難病（N=348）	24.1	16.1	12.1	7.8	6.6	9.5	12.1	11.8
障害児保護者（N=185）		25.4	18.9	17.3	12.4	11.9	7.6	4.9	1.6

2 市民同士の支え合い、地域活動

①手助けを「してほしい」事柄，手助けを「できる・してもいい」事柄【市民，高齢者】

あなたは次の事柄について、家族以外のまわりの人から手助けをしてほしいと思いますか。また、まわりの人に手助けできること（してもいいこと）はありますか。①手助けしてほしいか、②手助けできるかについて、それぞれ1つに○を付けてください。

- 家族以外のまわりの人から手助けを「してほしい」事柄の上位は、市民で〔キ 災害時避難の手助け〕，〔ア 安否確認の声かけ〕，〔ク 具合がよくない時に病院などに連絡する〕，高齢者で〔キ 災害時避難の手助け〕，〔ア 安否確認の声かけ〕，〔ク 具合がよくない時に病院などに連絡する〕となっている。
- また、手助けを「できる・してもいい」事柄の上位は、市民で〔ア 安否確認の声かけ〕，〔キ 災害時避難の手助け〕，〔ク 具合がよくない時に病院などに連絡する〕，高齢者で〔ア 安否確認の声かけ〕，〔ク 具合がよくない時に病院などに連絡する〕，〔キ 災害時避難の手助け〕となっている。

<「してほしい」の割合>

単位：％	ア 安 否 確 認 の 声 か け	イ ち よ つ と し た 買 い 物	ウ 食 事 や 掃 除 ・ 洗 濯 の 手 伝 い	エ 通 院 の 送 迎 や 外 出 の 手 助 け	オ 子 ど も の 預 か り	カ 話 し 相 手 や 相 談 相 手	キ 災 害 時 避 難 の 手 助 け	ク 病 院 な ど に よ く 連 絡 し る に 困 る
市民（N=924）	53.2	13.2	9.2	15.2	13.4	23.2	69.7	47.9
高齢者（N=633）	44.7	14.8	10.1	16.4	6.3	24.8	60.2	44.4

<「できる・してもいい」の割合>

市民（N=924）	73.3	49.4	25.6	27.2	23.6	47.7	72.6	66.5
高齢者（N=633）	61.9	42.2	19.9	22.1	16.4	44.2	56.9	58.8

②家族以外のまわりの人に手伝いや手助けをする（してもらう）ために必要な取組
【市民，高齢者】

家族以外のまわりの人に，手伝いや手助けをする（してもらう）にあたり，どのような取組があるとよいと思いますか。（いくつでも○）

- 家族以外のまわりの人に手伝いや手助けをする（してもらう）ために必要な取組は，市民，高齢者ともに「手助けしてほしい人と手助けできる人をコーディネート（紹介）する仕組み」が最も多く，「手助けしてほしい人や事柄を知ることのできる仕組み」が続いている。

単位：％	手助けしてほしい人をコーディネートする仕組み	手助けしてほしい人との手助けをすることのできる人（人柄や仕事）	手助けを知ることのできる人（人柄や仕事）	その他	取組は必要ない（できる時はする）	わからない	無回答
市民（N=924）	48.3	44.5	33.8	2.1	13.0	14.5	5.4
高齢者（N=633）	39.0	33.5	26.1	2.2	17.2	22.3	5.8

③地域活動・ボランティア活動の取組状況と今後の取組意向【市民，高齢者】

あなたは地域での活動に参加したり，地域のために日頃から心掛けていますか。①現在の状況，②今後の意向をお答えください。（それぞれ1つに○）

- 地域での活動等で「取り組んでいる」活動をみると，市民は〔ケ 趣味・習いごと・健康づくり（運動・スポーツ）などの活動〕が最も多く，〔キ 道路等のごみ拾い，自宅周辺の清掃，環境美化，環境保全・自然保護などの活動〕が続いている。高齢者は〔ケ 趣味・習いごと・健康づくり（運動・スポーツ）などの活動〕が最も多く，〔キ 道路等のごみ拾い，自宅周辺の清掃，環境美化，環境保全・自然保護などの活動〕が続いている。
- 関心のある（「取り組みたい」，「興味がある」）活動をみると，市民は〔カ 防災訓練や災害時に救援・支援をする活動〕が最も多く，〔イ 高齢者を支える行動や活動〕が続いている。高齢者は〔ケ 趣味・習いごと・健康づくり（運動・スポーツ）などの活動〕が最も多く，〔キ 道路等のごみ拾い，自宅周辺の清掃，環境美化，環境保全・自然保護などの活動〕が続いている。

<「取り組んでいる（心掛けている状態を含む）※1」の割合>

単位：％	ア P T A の や 世 帯 動 ※ 2	イ 高 齢 者 を 支 え る 行 動 や 活 動	ウ や 障 害 の あ る 人 を 支 え る 行 動	エ 伝 り お 祭 り や シ ョ ウ 化 を 伝 え る 活 動 の ク	オ 地 域 の 安 全 や 犯 罪 防 止 な ど ，	カ 支 援 を 訓 練 や 活 動 に 救 援 ・	キ 保 全 の 路 等 の 自 然 ， ご み 保 護 な 美 い ど 化 ， の ， 自 活 動 境 周	ク 自 治 会 な ・ 地 区 の 協 議 会 ・ 老 人	ケ の 活 動 （ 趣 味 ・ 運 動 ・ 習 い ご と ・ ス ポ ー ツ ） 健 康 な づ く
市民（N=924）	8.7	10.3	8.0	11.3	9.8	10.9	17.4	12.1	31.4
高齢者（N=633）	5.7	13.3	9.3	12.5	8.2	11.4	26.7	20.0	38.2

<「取り組みたい」と「興味がある」の合計割合>

市民（N=924）	28.7	62.4	37.6	61.8	38.1	68.5	33.0	58.6	55.4
高齢者（N=633）	19.0	26.2	21.6	22.6	24.8	33.2	38.3	26.8	48.5

※1 高齢者アンケートでは「週1回以上取り組んでいる（心掛けている状態を含む）」と「月1回以上取り組んでいる（心掛けている状態を含む）」と「年数回程度取り組んでいる（心掛けている状態を含む）」の合計割合

※2 高齢者アンケートの項目は〔ア 子育て世帯・青少年を支える行動や活動〕

④地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすい条件【市民，高齢者】

どのような条件であれば，地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすいですか。
(いくつでも○)

- 地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすい条件は，市民，高齢者ともに「時間や期間にあまりしばられない」が最も多く，「身近なところに活動できる場がある」が続いている。

単位：％	子ども世話や介護を代	活動や団体に関する情報	友人・知人と一緒に参加できる	時間や期間にあまりしばられない	身近なところに活動できる場がある	世話人やリーダーがいる	参加することでのメリットがある（報酬など）	活動資金の補助や援助がある	その他	わからない	条件によらず，参加したくない	無回答
市民（N=924）	8.4	22.9	25.1	56.7	43.5	15.8	18.7	13.2	3.5	11.3	8.1	5.3
高齢者（N=633）	2.1	17.7	16.1	43.4	38.2	15.5	5.2	6.5	5.1	21.3	9.5	6.8

3 相談支援

①困ったときの相談相手（人・機関）

【市民、高齢者、障害者（18歳以上）、障害児保護者】

日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。（いくつでも○）※1

- 困ったときの相談相手（人・機関）の1位は、市民、高齢者は「同居の家族」、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病、障害児保護者は「家族・親族（一緒に住んでいる・離れて住んでいる）」となっている。
- 一方、「身近に相談できる人や機関はない」または「相談する人がいない」は、精神障害で7.7%と最も多くなっている。

単位：％

		1位	特定項目
市民（N=924）		同居の家族（62.4）	身近に相談できる人や機関はない（5.0）
高齢者（N=633）		同居の家族（58.1）	身近に相談できる人や機関はない（3.8）
障害者 （18歳以上）	身体障害（64歳以下）（N=238）	家族・親族（一緒に住んでいる・離れて住んでいる）（65.5）	相談する人がいない（5.9）
	身体障害（65歳以上）（N=190）	家族・親族（一緒に住んでいる・離れて住んでいる）（70.5）	相談する人がいない（3.7）
	知的障害（N=240）	家族・親族（一緒に住んでいる・離れて住んでいる）（70.4）	相談する人がいない（3.3）
	精神障害（N=392）	家族・親族（一緒に住んでいる・離れて住んでいる）（59.9）	相談する人がいない（7.7）
	難病（N=348）	家族・親族（一緒に住んでいる・離れて住んでいる）（69.5）	相談する人がいない（2.9）
障害児保護者（N=185）		家族・親族（一緒に住んでいる・離れて住んでいる）（75.1）	相談する人がいない（2.7）

※1 障害者（18歳以上）アンケートの設問は「悩みや困りごとがある場合、主にどこに相談しますか。（いくつでも○）」
障害児保護者アンケートの設問は「あなた（保護者）が悩みや困りごとを相談できる人や機関はありますか。（いくつでも○）」

②医療機関（歯科を含む）の受診で困ること【障害者（18歳以上）、障害児保護者】

あなたは、医療機関（歯科を含む）の受診で困ることはありますか。（いくつでも○）

- 医療機関（歯科を含む）の受診で困ることは、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病、障害児保護者ともに「特にない」が最も多くなっている。
- 「特にない」を除くと、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、精神障害、難病は「医療費や交通費の負担が大きい」、知的障害は「医師・歯科医師とコミュニケーションがとりづらい」、障害児保護者は「専門的な治療やリハビリを行う医療機関が身近にない」が多くなっている。

単位：％		医療機関（歯科を含む）の受診で困ることはない	かかりつけの医療機関（歯科）がない	かかりつけの医療機関（歯科）がない	定期的な健康診断を受けられない	定期的な歯科健診を受けられない	専門的な治療やリハビリを行う医療機関が身近にない	障害を断られたことがある	通院するときに介助してくれる人がいない	医療費や交通費の負担が大きい	医師・歯科医師とコミュニケーションがとりづらい	その他	特にない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	8.4	8.4	3.8	2.9	5.5	4.6	2.9	19.7	7.6	8.0	47.1	9.7	
	身体障害（65歳以上）（N=190）	6.8	2.6	2.6	2.6	2.1	0.5	5.8	11.6	4.2	4.7	62.6	8.9	
	知的障害（N=240）	9.6	9.2	5.8	4.2	2.9	6.7	1.7	3.8	14.6	5.8	52.9	5.4	
	精神障害（N=392）	8.4	6.9	7.1	6.6	4.1	3.3	4.3	21.4	9.9	7.7	51.0	5.6	
	難病（N=348）	8.6	4.6	2.3	3.2	4.6	1.1	3.2	21.0	2.9	7.2	57.8	6.0	
障害児保護者（N=185）		4.3	12.4	3.2	4.9	20.5	4.3	7.0	11.9	9.7	13.0	42.7	5.9	

③今後の居住形態の意向【障害者（18歳以上）、障害児保護者】

今後、どのように生活したいですか。（1つに○）※1

- 今後の居住形態の意向は、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、精神障害、難病は「ひとり暮らし、または自分の配偶者と一緒に生活する」、知的障害は「親や兄弟などの家族と一緒に生活する」が最も多くなっている。
- 障害児保護者が希望するお子さんの暮らし方は「ひとり暮らし、または本人の配偶者と一緒に生活する」が最も多くなっている。

単位：％		に親や生活するなどの家族と一緒に	※3のひとり暮らし、または自分	グループホームで生活する	入所施設で生活する	その他	わからない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	29.4	46.6	3.8	2.9	2.5	11.3	3.4
	身体障害（65歳以上）（N=190）	21.6	50.0	0.0	6.3	3.7	12.6	5.8
	知的障害（N=240）	43.3	17.9	16.3	3.8	2.9	13.8	2.1
	精神障害（N=392）	25.8	47.4	4.1	2.0	3.3	14.8	2.6
	難病（N=348）	24.7	52.6	0.3	5.2	1.4	13.5	2.3
障害児保護者（N=185）		11.4	48.1	14.6	3.8	3.8	14.6	3.8

※1 障害児保護者アンケートの設問は「将来、あて名のお子さんに、どのような生活を希望しますか。（1つに○）」

※2 障害児保護者アンケートの選択肢は「親やきょうだい（兄弟・姉妹）などの家族と一緒に生活する」

※3 障害児保護者アンケートの選択肢は「ひとり暮らし、または本人の配偶者と一緒に生活する」

4 活動機会、スポーツ

①障害者、障害児の活動機会【障害者（18歳以上）、障害児保護者】

普段の生活の中で、次のような機会がありますか。（それぞれ1つに○）

- 生活の中の活動機会について、「十分にある」の割合は、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病、障害児保護者ともに「ア 好きなところへ出かける（ヘルパー利用も含む）」が最も多くなっている。

<「十分にある」の割合>

単位：％

		1位	2位
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	「ア 好きなところへ出かける（ヘルパー利用も含む）」 (46.6)	「イ 友人・知人との交流」 (36.1)
	身体障害（65歳以上）（N=190）	「ア 好きなところへ出かける（ヘルパー利用も含む）」 (44.2)	「イ 友人・知人との交流」 (34.7)
	知的障害（N=240）	「ア 好きなところへ出かける（ヘルパー利用も含む）」 (44.6)	「イ 友人・知人との交流」 (21.7) 「ウ スポーツ・運動をする機会」 (21.7)
	精神障害（N=392）	「ア 好きなところへ出かける（ヘルパー利用も含む）」 (45.7)	「イ 友人・知人との交流」 (28.3)
	難病（N=348）	「ア 好きなところへ出かける（ヘルパー利用も含む）」 (54.0)	「イ 友人・知人との交流」 (47.4)
障害児保護者（N=185）		「ア 好きなところへ出かける（ヘルパー利用も含む）」 (51.9)	「イ 友人・知人との交流」 (33.0)

- 生活の中の活動機会について、「機会はあるが、十分ではない」と「機会がない」の合計割合は、身体障害（64歳以下）、知的障害、精神障害は「ウ スポーツ・運動をする機会」、身体障害（65歳以上）、難病、障害児保護者は「エ 美術・音楽などの文化芸術活動の機会」が最も多くなっている。

<「機会はあるが、十分ではない」と「機会がない」の合計割合>

単位：％

		1位	2位
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	「ウ スポーツ・運動をする機会」（54.2）	「エ 美術・音楽などの文化芸術活動の機会」（50.4）
	身体障害（65歳以上）（N=190）	「エ 美術・音楽などの文化芸術活動の機会」（42.7）	「イ 友人・知人との交流」（41.6）
	知的障害（N=240）	「ウ スポーツ・運動をする機会」（53.0）	「エ 美術・音楽などの文化芸術活動の機会」（52.9）
	精神障害（N=392）	「ウ スポーツ・運動をする機会」（60.5）	「イ 友人・知人との交流」（56.6）
	難病（N=348）	「エ 美術・音楽などの文化芸術活動の機会」（56.4）	「オ ウ、エ以外の趣味や遊びごと」（49.7）
障害児保護者（N=185）		「エ 美術・音楽などの文化芸術活動の機会」（71.9）	「ウ スポーツ・運動をする機会」（63.2）

②スポーツ・運動をする頻度【障害者（18歳以上）、障害児保護者】

スポーツ・運動をする機会はどのくらいありますか。（1つに○）

- スポーツ・運動をする頻度は、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病は「ほとんどしない」、障害児保護者は「週に2回以上」が最も多くなっている。

単位：％		週に2回以上	週に1回程度	月に1,2回程度	ほとんどしない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	23.1	13.0	9.7	49.2	5.0
	身体障害（65歳以上）（N=190）	31.6	14.7	6.8	40.0	6.8
	知的障害（N=240）	18.8	14.6	16.7	41.7	8.3
	精神障害（N=392）	21.9	12.8	11.5	50.3	3.6
	難病（N=348）	25.0	14.4	12.9	44.3	3.4
障害児保護者（N=185）		35.7	31.9	10.8	18.4	3.2

5 外出、ひきこもりの状況

①外出の移動手段【高齢者、障害者（18歳以上）、障害児保護者】

利用している移動手段は何ですか。（いくつでも○）※1

- 利用している移動手段は、高齢者は「徒歩」、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、難病、障害児保護者は「徒歩・自転車・車いす」、精神障害は「電車」が最も多くなっている。

単位：％	徒歩	自転車	分 自家用車等（自 分で運転）	分 自家用車等（自 以外が運転）	送 迎 介 護 事 業 所 等 の	施 病 院 の 送 迎 リ ハ ビ リ	バ ス	タ ク シ ー	福 祉 タ ク シ ー	電 車	そ の 他	無 回 答
高齢者（n=621）	77.6	38.5	23.3	12.6	5.5	3.2	54.9	15.6	0.8	53.9	1.6	0.3

単位：％		運 自 家 用 車 （ 自 ら 運 転 す る ）	手 自 家 用 車 （ 運 転 す る ）	電 車	バ ス	タ ク シ ー	車 い す ・ 自 転 車 ・ 歩 行	そ の 他	該 当 な し	無 回 答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	19.7	13.0	47.9	27.3	13.9	51.3	4.6	0.8	2.9
	身体障害（65歳以上）（N=190）	12.1	14.7	33.7	36.8	17.9	44.2	5.3	2.1	4.7
	知的障害（N=240）	2.5	27.5	46.7	32.1	5.0	52.1	1.7	0.8	5.4
	精神障害（N=392）	4.8	8.4	65.1	36.5	4.6	62.0	2.6	0.3	2.6
	難病（N=348）	22.4	11.2	45.7	27.0	13.5	52.3	3.4	0.9	2.3
障害児保護者（N=185）		33.0	19.5	45.9	16.2	3.2	67.0	1.6	0.0	2.2

※1 高齢者アンケートの設問対象者は外出をする方のみ。

障害者（18歳以上）アンケート、障害児保護者アンケートの設問は「外出時に使用している主な移動手段は何ですか。（2つまで○）」

②外出の状況とひきこもりの期間・理由【市民、高齢者、障害者（18歳以上）】

あなたは普段、どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。
(1つに○)

- 外出の状況は、市民、高齢者、身体障害（64歳以下）、知的障害、精神障害、難病は「仕事や学校等で週に5日以上外出する」、身体障害（65歳以上）は「遊びや趣味の活動等で頻繁に外出する」が最も多くなっている。

単位：％		外仕事 出する ※1	外仕事 出する 学校等 で週に 3～4日	外遊び 出する や趣味 の活動 等で頻 繁に	外人づ 出する きあい のため にとき どき	出味普 出する 段は家 に在る 用事 のため 、自分 の趣味	ン普 ビ段 二は な家 にに は出 るか 、近 所の コ	出自 ない 室か らは 出る が、 家か らは	自室 から ほと んど 出な い	無回 答
市民（N=924）		46.6	13.4	10.8	7.3	7.9	7.5	0.9	0.4	5.2
高齢者（N=633）		21.0	13.3	19.7	10.0	11.8	14.5	3.2	1.1	5.4
障害者 （18歳以上）	身体障害（64歳以下）（N=238）	37.0	18.1	3.4	5.9	11.8	10.9	5.9	3.4	3.8
	身体障害（65歳以上）（N=190）	3.2	9.5	18.9	12.6	18.4	15.8	10.0	3.2	8.4
	知的障害（N=240）	67.1	10.0	4.2	1.3	4.2	4.6	1.7	1.3	5.8
	精神障害（N=392）	29.6	18.4	5.1	7.1	13.5	16.3	4.3	2.0	3.6
	難病（N=348）	29.9	10.3	10.3	10.1	10.9	15.5	4.9	1.7	6.3
【国】15～39歳（N=7,035） ※2		69.3	12.1	3.8	4.3	5.2	3.6	0.7	0.2	0.7
【国】40～64歳（N=5,214） ※2		59.0	15.1	3.7	7.7	6.8	5.8	0.6	0.2	1.2

※1 障害者（18歳以上）アンケートの選択肢は「仕事や学校等で平日は毎日外出する」

※2 「こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）」（内閣府）より

あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。（1つに○）

- 外出状況が現在の状態となって、どのくらい経つかは、市民、高齢者、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、精神障害、難病は「1年～5年未満」、知的障害は「3か月未満」が最も多くなっている。

単位：％		3 か 月 未 満	3 か 月 ～ 6 か 月 未 満	6 か 月 ～ 1 年 未 満	1 年 ～ 5 年 未 満	5 年 ～ 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上	無回 答
市民（n=154）		11.0	8.4	7.8	37.7	13.6	17.5	3.9
高齢者（n=194）		11.9	2.6	7.7	39.2	12.9	22.2	3.6
障害者 （18歳以上）	身体障害（64歳以下）（n=76）	15.8	2.6	6.6	27.6	21.1	21.1	5.3
	身体障害（65歳以上）（n=90）	13.3	0.0	6.7	28.9	18.9	22.2	10.0
	知的障害（n=28）	39.3	7.1	3.6	10.7	14.3	17.9	7.1
	精神障害（n=142）	17.6	5.6	4.9	30.3	18.3	20.4	2.8
	難病（n=115）	11.3	6.1	13.0	35.7	13.9	15.7	4.3

あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも○)

- 外出状況が現在の状態になった主な理由は、市民は「退職したこと」、高齢者、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病は「病気」が最も多くなっている。

単位：％		病気	介護・看護を担ったこと	（就労中）自宅仕事をしていない	学校になじめなかったこと	職場になじめなかったこと	受験に失敗したこと（高校・大学等）	就職活動がうまくいかなかったこと	人間関係がうまくいかなかったこと	退職したこと	その他	特に理由はない	わからない	無回答
市民（n=118）		22.0	5.9	12.7	0.0	1.7	0.8	3.4	3.4	27.1	13.6	20.3	0.0	5.9
高齢者（n=159）		32.7	12.6	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	21.4	20.1	20.8	3.1	3.8
障害者（18歳以上）	身体障害（64歳以下）（n=58）	70.7	3.4	3.4	1.7	5.2	0.0	0.0	1.7	10.3	15.5	1.7	3.4	1.7
	身体障害（65歳以上）（n=69）	56.5	4.3	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.4	27.5	14.5	1.4	2.9
	知的障害（n=13）	46.2	7.7	0.0	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	15.4	15.4	23.1	15.4	7.7
	精神障害（n=105）	68.6	3.8	3.8	5.7	10.5	1.9	6.7	21.0	22.9	14.3	8.6	3.8	2.9
	難病（n=90）	62.2	10.0	7.8	1.1	0.0	0.0	3.3	0.0	12.2	8.9	10.0	2.2	1.1

③市内に住む家族の外出状況とひきこもりの期間・理由【市民、高齢者、障害者（18歳以上）】

あなた以外で、市内にお住まいのご家族（同居・別居問わず）に下記の外出状況が当てはまる人はいますか。（1つに○）

- 市内に住む家族の外出状況は、「いずれもいない」を除くと、市民、高齢者、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病ともに「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」が最も多くなっている。

単位：％		出味普 すに段 る関は すは す家 るに 用事 のが と、 き自 だ分 けの 外趣	ン普 ビ段 二は な家 にに は出 が、 近所 の コ	出 自 室 から は出 るが 、家 から は	自 室 から ほと んど 出な い	い ず れ も い ない	外 出 状 況 が わ か ら ない	無 回 答
市民（N=924）		11.1	6.5	1.3	0.5	58.4	7.3	14.8
高齢者（N=633）		12.6	11.4	3.0	0.3	42.5	8.2	22.0
障害者（18歳以上）	身体障害（64歳以下）（N=238）	17.6	8.8	2.5	0.8	48.7	8.0	13.4
	身体障害（65歳以上）（N=190）	22.6	12.6	3.7	1.6	31.6	6.3	21.6
	知的障害（N=240）	14.2	5.8	0.8	0.4	43.8	8.3	26.7
	精神障害（N=392）	16.1	10.5	1.5	0.3	49.0	7.4	15.3
	難病（N=348）	18.7	6.6	2.6	0.6	51.4	3.7	16.4

ご家族の外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(1つに○)

- 家族の外出状況が現在の状態となって、どのくらい経つかは、市民、高齢者、難病は「1年～5年未満」、身体障害(64歳以下)は「3か月未満」、身体障害(65歳以上)、精神障害は「10年以上」が最も多く、知的障害は「3か月未満」と「10年以上」が同率となっている。

単位：％		3 か 月 未 満	3 か 月 ～ 6 か 月 未 満	6 か 月 ～ 1 年 未 満	1 年 ～ 5 年 未 満	5 年 ～ 1 0 年 未 満	1 0 年 以 上	無 回 答
市民 (n=180)		12.2	3.3	8.3	31.1	10.0	29.4	5.6
高齢者 (n=173)		12.7	4.6	4.6	28.9	12.7	28.3	8.1
障害者 (18歳以上)	身体障害 (64歳以下) (n=71)	29.6	2.8	2.8	21.1	15.5	25.4	2.8
	身体障害 (65歳以上) (n=77)	16.9	3.9	3.9	22.1	11.7	28.6	13.0
	知的障害 (n=51)	21.6	7.8	3.9	15.7	13.7	21.6	15.7
	精神障害 (n=111)	19.8	2.7	2.7	16.2	16.2	29.7	12.6
	難病 (n=99)	21.2	2.0	10.1	33.3	9.1	17.2	7.1

ご家族の外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(いくつでも○)

- 家族の外出状況が現在の状態になった主な理由は、市民は「退職したこと」、高齢者、身体障害(64歳以下)、身体障害(65歳以上)、精神障害、難病は「病気」、知的障害は「特に理由はない」が最も多くなっている。

単位：％		病 気	介 護 ・ 看 護 を 担 う こ と	を し て い る (就 労 中) 自 宅 で 仕 事	こ 学 校 に な じ め な か つ た	こ 職 場 に な じ め な か つ た	受 験 に 失 敗 し た こ と (高 校 ・ 大 学 等)	な 就 職 活 動 が う ま く い か な か つ た こ と	な 人 間 関 係 が う ま く い か な か つ た こ と	退 職 し た こ と	そ 他	特 に 理 由 は な い	わ か ら な い	無 回 答
市民 (n=142)		21.1	7.0	5.6	0.7	1.4	0.0	3.5	0.7	23.2	16.2	19.7	6.3	8.5
高齢者 (n=129)		26.4	12.4	2.3	0.0	0.8	0.0	0.8	2.3	24.0	7.0	23.3	4.7	10.1
障害者 (18歳以上)	身体障害 (64歳以下) (n=46)	30.4	10.9	4.3	2.2	4.3	0.0	0.0	2.2	10.9	15.2	13.0	4.3	13.0
	身体障害 (65歳以上) (n=51)	33.3	9.8	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	3.9	25.5	9.8	17.6	5.9	11.8
	知的障害 (n=28)	25.0	3.6	3.6	7.1	3.6	0.0	3.6	7.1	10.7	7.1	35.7	3.6	10.7
	精神障害 (n=72)	33.3	11.1	5.6	2.8	2.8	0.0	4.2	11.1	16.7	19.4	15.3	8.3	6.9
	難病 (n=69)	34.8	11.6	2.9	2.9	1.4	0.0	0.0	5.8	15.9	13.0	17.4	0.0	10.1

6 市民の権利を守る取組

①市民の権利を守る制度や事業の認知度【市民，高齢者】

市や社会福祉協議会等で行っている下記の制度や事業をご存知ですか。
(それぞれ1つに○)

- 市や社会福祉協議会等で行っている市民の権利を守る制度や事業について、「知っている」の割合は、市民，高齢者ともに〔ア 成年後見制度〕が最も多く，〔イ 法定後見制度〕が続いている。

<「知っている」の割合>

単位：％	ア 成年 後見 制度	イ 法定 後見 制度	ウ 任意 後見 制度	エ 市民 後見 人	オ 専門 職紹 介制 度	カ 事地 業域 福祉 権利 擁護	キ 事あ 業ん しん 未来 支援
市民（N=924）	39.3	25.9	19.4	6.3	4.0	5.3	1.8
高齢者（N=633）	42.0	21.6	20.1	6.0	4.3	3.9	3.0

②市民の権利を守る制度や事業の利用意向と利用しない理由【市民，高齢者】

あなたやご家族のどなたかが認知症などによって判断が十分にできなくなる場合に備えて、あるいは既にできない場合、いずれかの制度や事業を利用したいと思いますか。
(1つに○)

- 市民の権利を守る制度や事業の利用意向は、市民，高齢者ともに「利用を検討する」が最も多くなっている。

単位：％	既 に 利 用 し て い る	利 用 を 検 討 す る	利 用 し な い	わ か ら な い	無 回 答
市民（N=924）	1.8	61.4	5.8	26.1	4.9
高齢者（N=633）	1.3	47.1	10.3	29.5	11.8

制度を利用しない，または，わからないと答えた主な理由は何ですか。(いくつでも○)

- 制度を利用しない，または，わからないと答えた主な理由は，市民は「制度の内容や利用方法がわからない」，高齢者は「家族などに支援してもらいたい」が最も多くなっている。

単位：％	ない制度の内容や利用方法がわからない	事務手続きが難しい	後見人などの第三者に財産管理や契約手続きを任せるのは不安	経済的な理由や身寄りがなかったために，申立てが難しい	家族などに支援してもらいたい	その他	無回答
市民（n=295）	53.6	14.9	21.7	4.7	36.9	7.8	5.1
高齢者（n=252）	41.7	14.7	26.6	4.4	59.1	7.1	3.2

7 誰もが暮らしやすいまちづくり

①住みやすさの評価【障害者（18歳以上）、障害児保護者】

調布のまちは、障害（身体障害、知的障害、精神障害、難病など）のある人にとって、福祉サービス、バリアフリー、市民意識などを総合的に考え、住みやすいまちであると感じますか。（1つに○）

- 調布のまちは障害のある人にとって住みやすいまちであると感じるかについて、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病、障害児保護者ともに「どちらかといえば、住みやすいと思う」が最も多くなっている。

単位：％		住みやすいと思う	やどすちらかと思えば、住み	やどすちらかと思わなば、住み	住みやすいと思わない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	23.1	58.4	9.7	2.9	5.9
	身体障害（65歳以上）（N=190）	26.8	53.7	9.5	2.6	7.4
	知的障害（N=240）	32.9	50.0	6.7	1.7	8.8
	精神障害（N=392）	25.5	49.0	12.2	7.9	5.4
	難病（N=348）	20.4	60.6	9.2	4.0	5.7
障害児保護者（N=185）		11.9	63.2	18.4	4.9	1.6

②市内のバリアフリー・ユニバーサルデザインの状況

【市民、高齢者、障害者（18歳以上）、障害児保護者】

市内のバリアフリー・ユニバーサルデザインについて、どのように感じていますか。
(それぞれ1つに○)

- 市内のバリアフリー・ユニバーサルデザインの状況について、「とても充実している」と「充実している」を合わせた『充実している』の割合は、市民、高齢者、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病、障害児保護者ともに「イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター」が最も多くなっている。

<『充実している』の割合>

単位：％

		1 位	2 位
市民（N=924）		〔イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター〕 (48.9)	〔ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人など、誰もが使いやすいトイレ〕 (35.0)
高齢者（N=633）		〔イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター〕 (40.6)	〔ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人など、誰もが使いやすいトイレ〕 (28.7)
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	〔イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター〕 (49.1)	〔ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人、介助者の同伴が必要な人など、誰もが使いやすいトイレ〕 (37.8)
	身体障害（65歳以上）（N=190）	〔イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター〕 (51.1)	〔ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人、介助者の同伴が必要な人など、誰もが使いやすいトイレ〕 (32.1)
	知的障害（N=240）	〔イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター〕 (47.5)	〔ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人、介助者の同伴が必要な人など、誰もが使いやすいトイレ〕 (38.0)
	精神障害（N=392）	〔イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター〕 (46.9)	〔ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人、介助者の同伴が必要な人など、誰もが使いやすいトイレ〕 (38.0)
	難病（N=348）	〔イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター〕 (50.5)	〔ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人、介助者の同伴が必要な人など、誰もが使いやすいトイレ〕 (34.2)
障害児保護者（N=185）		〔イ 公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター〕 (42.7)	〔ウ 車いすの人や乳幼児を連れた人、介助者の同伴が必要な人など、誰もが使いやすいトイレ〕 (33.0)

- 市内のバリアフリー・ユニバーサルデザインの状況について、「あまり充実していない」と「充実していない」を合わせた『充実していない』の割合は、市民、高齢者、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病、障害児保護者ともに「エ 歩きやすいように障害物（商品や看板、放置自転車、電柱など）が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路」が最も多くなっている。

<『充実していない』の割合>

単位：％

		1位	2位
市民（N=924）		「エ 歩きやすいように障害物（商品や看板、放置自転車、電柱など）が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路」（64.3）	「ア 車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路（段差をなくす、幅を広げるなど）」（49.5）
高齢者（N=633）		「エ 歩きやすいように障害物（商品や看板、放置自転車、電柱など）が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路」（57.7）	「ア 車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路（段差をなくす、幅を広げるなど）」（43.0）
障害者 （18歳以上）	身体障害（64歳以下）（N=238）	「エ 歩きやすいように障害物（商品や看板、放置自転車、電柱など）が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路」（65.5）	「ア 車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路（段差をなくす、幅を広げるなど）」（43.7）
	身体障害（65歳以上）（N=190）	「エ 歩きやすいように障害物（商品や看板、放置自転車、電柱など）が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路」（56.3）	「ア 車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路（段差をなくす、幅を広げるなど）」（40.0）
	知的障害（N=240）	「エ 歩きやすいように障害物（商品や看板、放置自転車、電柱など）が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路」（45.0）	「シ 高齢者、子ども連れの家族、障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮」（30.1）
	精神障害（N=392）	「エ 歩きやすいように障害物（商品や看板、放置自転車、電柱など）が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路」（44.7）	「シ 高齢者、子ども連れの家族、障害や病気などがある人に対する人々の接し方や配慮」（37.0）
	難病（N=348）	「エ 歩きやすいように障害物（商品や看板、放置自転車、電柱など）が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路」（62.1）	「ア 車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路（段差をなくす、幅を広げるなど）」（44.8）
障害児保護者（N=185）		「エ 歩きやすいように障害物（商品や看板、放置自転車、電柱など）が取り除かれ、段差や凹凸が少なく十分に幅のある歩道や道路」（65.4）	「ア 車いすの人を含め誰もが安全に通れる建物の出入口や通路（段差をなくす、幅を広げるなど）」（46.0）

③心のバリアフリーの普及に必要な取組【市民，障害者（18歳以上），障害児保護者】

誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて，病気・障害・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く（心のバリアフリー）ために，特に必要な取組は何だと思いますか。（2つまで○）

- 心のバリアフリーのために特に必要な取組は，市民は「わかりやすい，使いやすい情報の提供」，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），精神障害は「わかりやすい情報発信」，知的障害，難病，障害児保護者は「学校における，お互いを理解し，思いやる心を育てるための教育や，障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実」が最も多くなっている。

単位：％

		1 位	2 位
市民（N=924）		わかりやすい，使いやすい情報の提供（56.5）	学校において，お互いを理解し，思いやる心を醸成するための教育（50.0）
障害者 （18歳以上）	身体障害（64歳以下）（N=238）	わかりやすい情報発信（47.9）	学校における，お互いを理解し，思いやる心を育てるための教育や，障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実（44.1）
	身体障害（65歳以上）（N=190）	わかりやすい情報発信（45.3）	学校における，お互いを理解し，思いやる心を育てるための教育や，障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実（35.3）
	知的障害（N=240）	学校における，お互いを理解し，思いやる心を育てるための教育や，障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実（45.4）	わかりやすい情報発信（33.3）
	精神障害（N=392）	わかりやすい情報発信（46.4）	学校における，お互いを理解し，思いやる心を育てるための教育や，障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実（39.5）
	難病（N=348）	学校における，お互いを理解し，思いやる心を育てるための教育や，障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実（52.9）	わかりやすい情報発信（51.4）
障害児保護者（N=185）		学校における，お互いを理解し，思いやる心を育てるための教育や，障害者などさまざまな人と触れ合う機会の充実（75.1）	わかりやすい情報発信（45.9）

④障害や病気への差別や偏見，配慮のなさを感じる場面

【障害者（18歳以上），障害児保護者】

普段の暮らしや外出のとき，障害や病気への差別や偏見，配慮のなさを感じる場面はありますか。（いくつでも○）※1

- 障害や病気への差別や偏見，配慮のなさを感じる場面は，身体障害（64歳以下）は「交通機関や建物のつくりの配慮」，身体障害（65歳以上），難病は「特に感じない」，知的障害は「まちなかでの人の視線」，精神障害は「仕事や収入」，障害児保護者は「教育・保育の機会」が最も多くなっている。

単位：％		教育の機会※2	仕事や収入	民間の習いごと・教室	近所・付き合いや地域の行事・活動	店での扱いや店員の対応・態度	まちなかでの人の視線	交通機関や建物のつくりの配慮	行政職員の対応・態度	その他	特に感じない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	8.8	23.5	-	6.3	14.3	19.7	35.7	9.7	4.6	31.9	7.6
	身体障害（65歳以上）（N=190）	2.1	4.2	-	5.3	6.8	10.5	16.8	3.2	3.7	53.2	13.7
	知的障害（N=240）	16.3	26.7	-	16.3	17.9	32.5	20.0	7.9	4.2	29.2	10.0
	精神障害（N=392）	11.2	39.5	-	14.3	13.0	20.4	18.9	15.1	6.9	29.1	6.6
	難病（N=348）	7.8	14.9	-	5.7	11.2	11.2	20.4	6.6	4.6	49.1	7.2
障害児保護者（N=185）		40.5	-	30.3	22.2	11.9	33.5	10.3	13.5	7.6	22.2	1.1

※1 障害児保護者アンケートの設問は「あなた（保護者）は，お子さんが生活する中で，障害や病気への差別や偏見，配慮のなさを感じることはありますか。（いくつでも○）」

※2 障害児保護者アンケートの選択肢は「教育・保育の機会」

⑤ヘルプカード，ヘルプマーク【障害者（18歳以上），障害児保護者】

あなたは，調布市が配布しているヘルプカード，ヘルプマークを持っていますか。
（それぞれ1つに○）

ヘルプカード

- ヘルプカードの所持について，「もっていて，いつも，もち歩いている」の割合をみると，身体障害（64歳以下），精神障害，障害児保護者は1割台，身体障害（65歳以上），知的障害は2割台，難病は1割未満となっている。

単位：％		ももち歩 ていて いる いつも	も て て い ない が ， も ち 歩	も と つ て い ない が ， ほ し	な も つ て い ない し ， 必 要	無 回 答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	16.8	26.1	18.1	34.9	4.2
	身体障害（65歳以上）（N=190）	21.1	14.7	15.8	31.6	16.8
	知的障害（N=240）	28.7	26.3	10.0	28.3	6.7
	精神障害（N=392）	14.3	29.3	15.3	35.2	5.9
	難病（N=348）	7.2	10.3	16.1	60.3	6.0
障害児保護者（N=185）		11.4	19.5	22.7	43.2	3.2

ヘルプマーク

- ヘルプマークの所持について，「もっていて，いつも，もち歩いている」の割合をみると，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害，障害児保護者は2割台，難病は1割台となっている。

単位：％		ももち歩 ていて いる いつも	も て て い ない が ， も ち 歩	も と つ て い ない が ， ほ し	な も つ て い ない し ， 必 要	無 回 答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	28.2	14.7	20.6	31.1	5.5
	身体障害（65歳以上）（N=190）	21.6	15.8	17.4	29.5	15.8
	知的障害（N=240）	24.2	17.1	15.8	32.9	10.0
	精神障害（N=392）	21.9	21.4	18.4	31.6	6.6
	難病（N=348）	14.9	9.5	16.1	54.0	5.5
障害児保護者（N=185）		21.1	17.3	21.1	38.4	2.2

ヘルプカードやヘルプマークをもっていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けをしてもらったりしたことがありますか。(1つに○)

- ヘルプカードやヘルプマークをもっていることで、周囲の人に配慮してもらったり、手助けをしてもらったりした経験について、「ある」の割合をみると、身体障害（64歳以下）は2割台、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病、障害児保護者は1割台となっている。

単位：％		ある	ない	わも かつ て ない ない	無 回 答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	24.4	25.2	43.7	6.7
	身体障害（65歳以上）（N=190）	16.8	26.3	38.9	17.9
	知的障害（N=240）	13.8	37.5	39.6	9.2
	精神障害（N=392）	16.6	30.4	46.7	6.4
	難病（N=348）	10.9	16.1	62.6	10.3
障害児保護者（N=185）		11.9	21.1	63.8	3.2

⑥共生社会の充実のための法律や考え方、条例の認知度

【市民、高齢者、障害者（18歳以上）、障害児保護者】

共生社会の充実のための法律や考え方、調布市が令和6年度に制定した2つの条例を知っていますか。(それぞれ1つに○)

ア 障害者差別解消法

- 障害者差別解消法の認知度は、市民、高齢者、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病、障害児保護者ともに「知らない」が最も多くなっている。

単位：％		内容を知っている	（聞いたことはある）	知らない	無回答
市民（N=924）		8.1	18.8	70.1	2.9
高齢者（N=633）		5.4	23.1	64.1	7.4
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	12.6	27.7	55.0	4.6
	身体障害（65歳以上）（N=190）	8.9	17.9	61.1	12.1
	知的障害（N=240）	13.3	21.3	57.9	7.5
	精神障害（N=392）	11.0	24.0	62.0	3.1
	難病（N=348）	8.9	21.8	66.7	2.6
障害児保護者（N=185）		18.9	26.5	54.6	0.0

イ 合理的配慮

- 合理的配慮の認知度は、市民、高齢者、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病、障害児保護者ともに「知らない」が最も多くなっている。
- 障害児保護者は「内容を知っている」が3割を超えている。

単位：％		内容を知っている	（聞いたことはある）	知らない	無回答
市民（N=924）		9.3	18.2	69.5	3.0
高齢者（N=633）		3.8	13.3	75.0	7.9
障害者 （18歳以上）	身体障害（64歳以下）（N=238）	14.7	22.3	58.4	4.6
	身体障害（65歳以上）（N=190）	9.5	14.7	62.6	13.2
	知的障害（N=240）	15.0	18.3	58.8	7.9
	精神障害（N=392）	18.4	21.4	56.4	3.8
	難病（N=348）	8.3	18.7	69.0	4.0
障害児保護者（N=185）		31.4	28.6	40.0	0.0

ウ パラハートちょうふ

- パラハートちょうふの認知度は、市民、高齢者、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病は「知らない」、障害児保護者は「聞いたことはある（内容は知らない）」が最も多くなっている。

単位：％		内容を知っている	（聞いたことはある）	知らない	無回答
市民（N=924）		5.6	26.8	64.5	3.0
高齢者（N=633）		5.1	24.5	63.3	7.1
障害者 （18歳以上）	身体障害（64歳以下）（N=238）	5.0	30.3	60.1	4.6
	身体障害（65歳以上）（N=190）	8.9	25.3	54.7	11.1
	知的障害（N=240）	17.1	33.8	41.3	7.9
	精神障害（N=392）	8.4	34.9	53.3	3.3
	難病（N=348）	8.3	32.8	56.3	2.6
障害児保護者（N=185）		17.8	60.0	22.2	0.0

エ 調布市手話言語条例

- 調布市手話言語条例の認知度は、市民、高齢者、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病、障害児保護者ともに「知らない」が最も多くなっている。

単位：％		内容を 知っている	（聞いた ことは 知らない）	知らない	無 回 答
市民（N=924）		1.5	7.7	87.7	3.1
高齢者（N=633）		2.1	8.4	82.3	7.3
障害者 （18歳以上）	身体障害（64歳以下）（N=238）	3.8	11.3	79.4	5.5
	身体障害（65歳以上）（N=190）	5.3	14.2	68.4	12.1
	知的障害（N=240）	3.3	13.8	74.6	8.3
	精神障害（N=392）	3.8	10.7	80.4	5.1
	難病（N=348）	3.2	14.9	78.2	3.7
障害児保護者（N=185）		4.3	10.8	84.9	0.0

オ 調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例

- 調布市障害者の多様な意思疎通に関する条例の認知度は、市民、高齢者、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病、障害児保護者ともに「知らない」が最も多くなっている。

単位：％		内容を 知っている	（聞いた ことは 知らない）	知らない	無 回 答
市民（N=924）		0.9	7.6	88.3	3.2
高齢者（N=633）		1.3	7.7	83.6	7.4
障害者 （18歳以上）	身体障害（64歳以下）（N=238）	3.4	10.9	80.7	5.0
	身体障害（65歳以上）（N=190）	6.3	15.8	68.9	8.9
	知的障害（N=240）	4.6	12.5	74.6	8.3
	精神障害（N=392）	2.6	10.7	83.9	2.8
	難病（N=348）	2.9	14.1	79.9	3.2
障害児保護者（N=185）		3.2	13.0	83.8	0.0

8 災害時の対策

①避難場所・避難経路・警戒区域などの確認状況【障害者（18歳以上）、障害児保護者】

防災マップや洪水ハザードマップなどで避難場所・避難経路・警戒区域などを確認していますか。（1つに○）

- 避難場所・避難経路・警戒区域などの確認状況は、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、難病、障害児保護者は「確認している」、知的障害、精神障害は「確認していない」が多くなっている。

単位：％		確認している	確認していない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	52.1	45.0	2.9
	身体障害（65歳以上）（N=190）	60.5	31.1	8.4
	知的障害（N=240）	45.8	52.9	1.3
	精神障害（N=392）	45.9	51.3	2.8
	難病（N=348）	64.9	31.3	3.7
障害児保護者（N=185）		77.8	22.2	0.0

②緊急時の避難情報の入手先【障害者（18歳以上）、障害児保護者】

災害や火災などの緊急の際、避難情報を主にどこからとりますか。（1つに○）

- 緊急時の避難情報の入手先は、身体障害（64歳以下）、難病、障害児保護者は「調布市防災・安全情報メール」、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害は「わからない」が最も多くなっている。

単位：％		防災行政無線	調布市防災・安全情報メール	調布FM	市ホームページ	ケーブルテレビ	SNS（市の公式アカウントを含む）	その他	わからない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	9.7	23.1	1.7	11.3	5.5	18.9	6.3	19.7	3.8
	身体障害（65歳以上）（N=190）	15.8	21.6	4.7	7.9	5.3	5.8	6.8	22.6	9.5
	知的障害（N=240）	9.6	21.7	0.8	6.7	6.3	11.3	4.6	34.6	4.6
	精神障害（N=392）	9.7	15.1	1.5	9.7	5.6	22.2	5.1	28.8	2.3
	難病（N=348）	10.1	26.4	0.9	14.4	4.9	19.0	3.4	17.2	3.7
障害児保護者（N=185）		7.6	49.7	0.0	7.6	1.1	23.2	1.6	8.6	0.5

9 デジタルの活用

①市の保健福祉施策（サービス）に関する情報の入手先

【障害者（18歳以上）、障害児保護者】

調布市の保健福祉施策（サービス）に関する情報をどこから入手していますか。

（いくつでも○）

- 市の保健福祉施策（サービス）に関する情報の入手先は、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病、障害児保護者ともに「市の広報紙・チラシ」が最も多くなっている。

単位：％		市のホームページ	市の広報紙・チラシ	市役所・相談機関などの窓口	テレビ（ケーブルテレビを含む）・ラジオ	家族、友人・知人からの口コミ	SNS	その他	特になく、情報は入手していない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	29.8	45.4	16.8	2.9	13.4	9.2	4.2	21.0	3.8
	身体障害（65歳以上）（N=190）	17.4	47.4	12.6	6.3	12.6	3.2	3.2	24.7	9.5
	知的障害（N=240）	16.3	37.1	17.1	4.2	22.9	6.3	2.9	28.3	9.2
	精神障害（N=392）	24.5	37.2	20.7	5.1	14.8	12.8	3.1	27.8	5.1
	難病（N=348）	29.3	47.4	12.6	4.0	10.9	9.8	1.4	22.7	4.6
障害児保護者（N=185）		41.1	62.2	19.5	0.5	33.0	15.1	3.2	5.4	1.6

10 市の障害者福祉施策

①市の相談窓口や制度の認知度【障害者（18歳以上）、障害児保護者】

あなたは次の調布市の相談窓口や制度を知っていますか。（それぞれ1つに○）

- 市の相談窓口や制度の認知度について、「知っている」の割合をみると、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、難病は[ク 成年後見制度]，知的障害は[イ ちょうふだぞう（相談支援・地域活動支援センター）]，精神障害は[エ こころの健康支援センター（相談支援・デイ事業等）] が最も多くなっている。
- 障害児保護者の「知っている」の割合は[ア 子ども発達センター]，[イ 子ども家庭支援センターすこやか（国領ココスクエア2階）] で9割を超えている。

<「知っている」の割合>

単位：％		ア 動 支 援 セ ン タ ー （ 相 談 支 援 ・ 地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー ）	イ 地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー （ 相 談 支 援 ・ 地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー ）	ウ 希 望 ヶ 丘 （ 相 談 支 援 ・ 地 域 活 動 支 援 セ ン タ ー ）	エ こ こ ろ の 健 康 支 援 セ ン タ ー （ 相 談 支 援 ・ デ イ 事 業 等 ）	オ 予 約 制 （ 難 病 相 談 窓 口 （ 障 害 福 祉 課 ・ 予 約 制 ）	カ 障 害 者 虐 待 防 止 セ ン タ ー （ 障 害 福 祉 課 ）	キ 地 域 福 祉 コ ー デ ィ ネ ー タ ー （ 社 会 福 祉 協 議 会 ）	ク 成 年 後 見 制 度
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	28.2	30.7	9.2	18.1	11.8	8.8	21.8	39.5
	身体障害（65歳以上）（N=190）	23.2	21.6	8.4	15.8	11.6	12.1	32.6	40.0
	知的障害（N=240）	26.3	83.8	8.8	27.5	4.2	12.9	29.6	35.4
	精神障害（N=392）	18.9	27.8	17.3	48.0	4.8	7.7	23.0	39.5
	難病（N=348）	13.5	21.3	5.7	16.1	40.8	10.1	27.3	47.7

<「知っている」の割合>

単位：％		ア 子 ど も 発 達 セ ン タ ー	イ か 子 ど も 家 庭 支 援 セ ン タ ー す こ や か （ 国 領 コ コ ス ク エ ア 2 階 ）	ウ 教 育 相 談 所 （ 調 布 市 教 育 会 館 6 階 ）	エ 教 育 支 援 コ ー デ ィ ネ ー タ ー （ 調 布 市 教 育 会 館 5 階 ）	オ 子 ど も 家 庭 セ ン タ ー （ 文 化 会 館 ）	カ 障 害 者 虐 待 防 止 セ ン タ ー （ 障 害 福 祉 課 ）
障害児保護者（N=185）		95.1	93.5	75.1	43.8	74.6	18.4

②市の障害者福祉施策（サービス）の充実のために重要な取組

【障害者（18歳以上）、障害児保護者】

調布市の障害者福祉施策（サービス）をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。（いくつでも○）

- 市の障害者福祉施策（サービス）の充実のために重要な取組は、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害、難病は「困ったことや福祉サービスの利用などを気軽に相談できる窓口」、障害児保護者は「放課後などの活動場所（放課後等デイサービスなど）の整備」が最も多くなっている。

単位：％		困ったことや福祉サービスの利用などを気軽に相談できる窓口	健康づくりや地域での医療サービス	手当てや医療費の助成などの経済的な支援	成年後見制度など、金銭・財産などの管理の支援	ホームヘルプなど、在宅生活を支援するサービス	ガイドヘルパー参加の支援	介助者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ※1	発達に関する相談や療育の充実	保育園・幼稚園などにおける受入れの推進	特別支援教育の充実	放課後などの活動場所（放課後等デイサービスなど）の整備
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	58.8	18.1	53.4	13.9	26.5	14.7	24.4	-	-	-	-
	身体障害（65歳以上）（N=190）	55.3	16.3	42.6	5.3	30.0	7.9	23.2	-	-	-	-
	知的障害（N=240）	55.8	24.6	38.8	28.7	20.0	22.9	30.8	-	-	-	-
	精神障害（N=392）	65.3	26.5	56.6	19.9	25.5	17.6	19.1	-	-	-	-
	難病（N=348）	60.6	25.6	53.4	11.2	30.5	10.3	21.3	-	-	-	-
障害児保護者（N=185）		62.2	20.0	56.8	36.2	18.4	22.2	51.4	64.3	34.6	53.0	67.0
単位：％		日中の活動場所（作業所などの障害者施設）の整備※2	企業などで働くための支援（就業支援）	仕事以外の趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備※3	グループホームなど地域における住まいの場の整備	障害理解の促進や差別の解消	公共施設や道路、交通機関などのバリアフリー	障害者に応じた多様な情報提供の充実	災害時の支援体制の整備	デジタル技術を活用した、情報提供や意思疎通支援	その他	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（N=238）	14.3	23.5	18.5	15.1	22.7	34.9	26.1	33.6	21.8	3.8	9.2
	身体障害（65歳以上）（N=190）	6.3	5.3	10.5	12.1	5.3	26.8	21.6	28.4	5.8	1.6	17.4
	知的障害（N=240）	28.3	23.3	26.3	40.4	31.7	20.4	29.2	32.9	15.0	3.3	11.3
	精神障害（N=392）	25.3	31.9	26.5	19.1	34.4	21.4	35.2	30.6	23.5	5.9	7.1
	難病（N=348）	9.8	17.5	13.8	12.4	13.5	28.2	19.3	29.3	15.5	1.7	8.9
障害児保護者（N=185）		45.4	43.2	36.8	31.4	36.8	25.9	40.0	25.9	18.9	5.9	1.6

※1 障害児保護者アンケートの選択肢は「保護者の病気など、緊急時における一時預かり、ショートステイ」

※2 障害児保護者アンケートの選択肢は「学校卒業後の日中の活動場所（作業所などの障害者施設）の整備」

※3 障害児保護者アンケートの選択肢は「趣味や余暇活動・スポーツ活動などの支援や場所の整備」

11 介助者のこと

①介助や支援の不安や困りごと【障害者（18歳以上）、障害児保護者】

介助や支援にあたってどのような不安や困りごとがありますか。（いくつでも○）

- 介助や支援にあたっての不安や困りごとは、身体障害（64歳以下）、身体障害（65歳以上）、知的障害、精神障害は「介助・支援をする家族自身の高齢化」、難病は「特にない」、障害児保護者は「何かあったときに本人の介助・支援を頼める人（場所）がない」が最も多くなっている。

単位：％		か障害や病気のことがよくわ	わ適切な介助・支援の方法が	暇自分の外出・休養など（余	こ自分の希望することや仕事に	か自分の学校・学業が	の介助・支援をする家族自身	も介助・支援をする家族自身	が本人のほかに介助・支援	援姉妹）にも本人の介助や支・
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（n=180）	2.2	10.6	21.7	7.8	0.6	24.4	13.3	8.9	-
	身体障害（65歳以上）（n=139）	5.0	8.6	10.1	3.6	0.0	33.8	13.7	7.9	-
	知的障害（n=209）	1.9	6.7	20.6	12.4	0.0	53.6	14.8	18.2	-
	精神障害（n=251）	14.7	16.3	12.0	6.8	1.6	27.5	15.9	10.0	-
	難病（n=278）	9.0	10.8	10.8	2.9	0.4	20.1	5.8	4.0	-
障害児保護者（N=185）		9.7	33.5	33.0	33.0	-	20.0	6.5	11.9	15.1
単位：％		（介助・支援を頼める本人の	相談できる場所がない	機会がない情報交換、交流、	障害者の負担が大きい	経済的な負担が大きい	その他	特にな	いないのでわからない	無回答
障害者 (18歳以上)	身体障害（64歳以下）（n=180）	20.6	10.6	7.8	18.9	2.2	17.2	3.3	27.2	
	身体障害（65歳以上）（n=139）	17.3	5.0	2.9	11.5	0.0	15.8	3.6	30.2	
	知的障害（n=209）	32.1	6.7	11.0	12.9	8.1	15.3	2.9	7.7	
	精神障害（n=251）	22.3	11.6	9.6	22.3	2.8	16.7	3.6	25.5	
	難病（n=278）	10.4	3.6	4.7	12.2	1.8	22.7	14.7	23.4	
障害児保護者（N=185）		35.7	10.3	16.2	18.4	8.6	14.6	-	1.6	

②介護者支援策への意向【高齢者，障害者（18歳以上），障害児保護者】

介護者支援策として，あなたが必要だと思うことは次のどれですか。（いくつでも○）※1

- 必要だと思う介護者支援策は，高齢者は「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」，身体障害（64歳以下），身体障害（65歳以上），知的障害，精神障害は「支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実」，難病は「わからない」，障害児保護者は「支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実」が最も多くなっている。

単位：％		介護者に対する定期的な情報提供	介護者が気軽に休息がとれる機会づくり	電話や訪問による相談サービス	本人や介護者が集まって話せる場づくり	仕事と介護の両立支援	介護者の経験をいかした発言の場づくり	その他	特にない	無回答				
高齢者（N=633）		47.2	49.0	38.7	30.0	37.4	17.5	1.1	11.8	6.8				
単位：％		作り，話し合える場を作ったこと	介護者同士が交流した	本人の時間を作ったこと	離れる時間を作ったこと	家事や育児を手伝って	柔軟な対応や働き方の普及	場環境や働き方の普及	助や支援の状況に合わせた	談窓口の充実	支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実	その他	わからない	無回答
障害者 （18歳以上）	身体障害（64歳以下）（n=180）	4.4	16.7	10.0	14.4	32.8	5.6	17.8	28.9					
	身体障害（65歳以上）（n=139）	3.6	13.7	6.5	6.5	30.9	2.9	15.1	38.8					
	知的障害（n=209）	13.4	24.9	5.7	22.0	50.2	8.1	12.4	12.4					
	精神障害（n=251）	8.8	15.5	11.2	19.9	34.7	4.8	21.1	29.9					
	難病（n=278）	6.5	14.4	6.8	9.0	22.3	1.4	31.7	31.7					
単位：％		話し合える場を作ったこと	保護者同士が交流した	本人の時間を作ったこと	離れる時間を作ったこと	家事や育児を手伝って	状況や本人の状況に合わせた	育児や本人の状況に合わせた	充実した情報提供・相談窓口の充実	どの情報提供・相談窓口の充実	支援制度や福祉サービスなどの情報提供・相談窓口の充実	その他	無回答	
障害児保護者（N=185）		28.1	40.5	24.9	47.6	59.5	14.6	4.9						

※1 障害者（18歳以上）アンケートの設問は「ご家族におたずねします（ご家族以外は回答不要）。介助する人への支援として力を入れてほしいことは何ですか。（いくつでも○）」
 障害児保護者アンケートの設問は「保護者への支援として力を入れてほしいことは何ですか。（いくつでも○）」